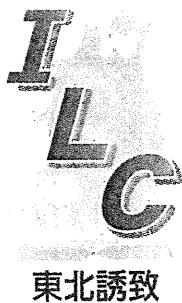


# 建設実現へ拠点開設

## 県、産学官の連携後押し



東北誘致



岩手 ILC 連携室の看板を掛ける千葉茂樹副知事（右）と吉岡正和東北大・岩手大客員教授

県は15日、北上山地（北上高地）での国際リニアコライダー（ILC）の建設実現に向け、産学官の関係者が利用する「岩手 ILC 連携室」を盛岡市北飯岡の県先端科学技術研究センター内に開設した。

千葉茂樹副知事と東北大・岩手大の吉岡正和客員教授が同連携室の前に看板を立て掛け、開設を祝った。千葉副知事は「県内の ILC 関係者の連携拠点として

スタートし、今後は ILC 担つていきたい」と先を見据えた。

同連携室は、14日に東北

吉岡氏は「東北 ILC 準備室の前線基地と捉えている。加速器の応用や ILC という国際プロジェクトの推進、産業全体の技術革新、そして次世代の研究者や技術者の育成の拠点としていきたい」と強調した。

外国人研究者の受け入れ態勢の整備や ILC に関する広報活動などをを行うために関係者間の会議の場に利用。吉岡氏が週1回は訪れ、関係者とのミーティングや作業スペースとしても活用する。

ILC 推進協議会が設置した東北 ILC 準備室と連携して建設実現に取り組むための本県の拠点となる。30・5 平方㍍で、会議用テーブルや作業用の事務机などを備える。